令和８年度　東日本支部　事業計画書

支部長：山口 和章

作成日：令和 7 年 11 月 28 日

１．事業の概要・目標（新規事業を含む）

＜事業概要＞

① 支部会開催　(2 回の開催を予定)　　※必要に応じて臨時支部会の開催

② (一社)日本義肢協会 関東・東京支部との協力体制の構築（合同会議及び協賛セミナー）

③ 令和 8 年度　新潟県にて開催の「新潟福祉フェスタ」へ JAPO ブース出展予定

④ PO 啓発 WG の事業活動への協力

⑤ 東日本支部所属の各県会員とのコミュニケーションの模索

＜事業目標＞

①　令和 8 年度は対面にて支部会を積極的に開催します。保谷支部理事にご教示頂きながら運営してまいります。東日本支部の現状の把握や問題点の改善、協会発展に向けての取り組みを進めたい。

②　令和 8 年度は、義肢協会との合同会議と協賛セミナーの実施を目標とします。山岡副支部長と義肢協会との関係性を活かし東日本支部と義肢協会との関りをより深いものにし相互の協会活動が活発になればと思います。これまで築き上げた義肢協会関東・東京支部との協力体制を継続するために、共同事業について先ずは合同会議を開催したい（セミナー前に 1 回を予定)。

③　新潟福祉機器展へのブース出展は、平成 30 年・令和元年度と 2 度実施した事業活動である。
令和 7 年度はこちらの福祉機器展の開催が無く参加することが出来なかった。
令和 8 年度は「新潟福祉フェスタ 2026」が開催されたらこちらのイベントに初めて参加したいと計画しています。
こちらのイベントは令和 7 年に、・アビリティーズ株式会社　・COCORE WORKS 株式会社が協力企業として幹事を務め、新潟県理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、日本車椅子シーティング協会等が後援となり、新潟県長岡市で開催されました。
このイベントに東日本支部直轄である PO 啓発 WG と共に出展したいと考えます。
義肢装具士の職業理解および義肢装具士という医療職としての名称の認知度アップ、JAPO の認知度アップのために出展して広報活動に取り組みます。

④　現状、東日本支部管轄である PO 啓発 WG の事業活動について、これからも東日本支部としても、より WG への連携を強くする必要がある時期になっております。WG の人員の不足や活動内容が多岐に渡るようになり、スタッフの負担も大きくなることが予測されます。PO 啓発活動は全国的に必要であり、今後はその活動も東日本支部活動を超えて全国展開される準備も進行しています。今後も WG の活動が円滑に実施出来るようサポートします

⑤ 東日本支部の活動において、主に東京周辺の支部員や会員の関りは多いが、都市部から離れた各県の会員とのコミュニケーションが少なく、特に長野県・山梨県は極端に少ない状況です。そこで、東日本支部所属の各県会員とより深い関りを構築するのにはどの様な方法があるのか、各県所属会員の中から代表者を選任し、意見交換会を実施したいと思います。各県の近況等、報告（意見）を受けることにより、今後の会員サービス向上や入会促進につなげる支部活動の参考にしたい

２．スケジュール

① 2回の支部会を開催予定（対面を予定しています）

② 令和8年4月以降に、(一社)日本義肢協会 関東・東京支部協賛のセミナーを開催予定
内諾済み講師　（講師：中井要介氏　テーマ：　協議中　）

③ 令和8年の開催告知があり次第エントリー予定（須田支部員担当予定）

④ PO啓発WGの事業活動については、今年度もWG活動が活発に行われていることから、次年度についても継続してサポートする考えである。

⑤ 意見交換会は令和8年度上期に実施予定（参加者内諾済み）

３．その他

特になし

４．所属委員

（支部役員：8名）

・山口支部長
・山岡副支部長
・本道支部事務局長　※人間総合科学大 教員
・須田支部員　※新潟医療福祉大 教員
・新井支部員（研修副委員長）
・安部支部員（PO啓発WG委員長）※西武学園 教員
・北川支部員（車椅子シーティング WG委員長）
・伊菅支部員（編集副委員長）

（オブザーバー）

・保谷理事